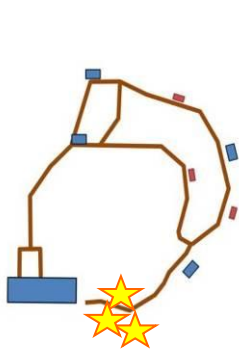


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.1

今のおすすめは エゾリュウキンカ です



◀ 約 3 km ▶

一周約 1km

所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散歩を楽しんでください

【発見難易度】黄色の花です

★☆☆☆☆ キンポウゲ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (30~80cm程度)



親指の輪くらい

【漢字: 蝦夷立金花】

黄色い花とみずみずしい緑の大きな葉は、色の無い世界だった冬の後目に鮮やかで、元気いっぱい春を告げる花です。湿った所(谷地)に咲くフキのような葉なので別名「ヤチブキ(谷地路)」と呼ばれ、花が咲く前の茎は春の山菜として道民に親しまれています。

ヤチヤナギ(雄花) ヤマモモ科 咲いています



雌雄異株で、雄花は1cm程の松かさ状の地味な花が咲きます。黄緑色に見えるのが雄しべです。よく見ると木道わきでたくさん咲いています。

ヤチヤナギ(雌花) ヤマモモ科 咲いています



花は5mm程と極小で、まるでマツチ棒の先のような形で赤紫色をしています。まだ虫のいないこの時期、雄花の花粉が風で飛んでくるのを待ちます。

ミズバショウ サトイモ科 咲いています



白い花のように見えるのは花を保護する苞で、中心にある黄色いツブツブの一つ一つが花で、それぞれに4本の雄しべと1本の雌しべが付いています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!

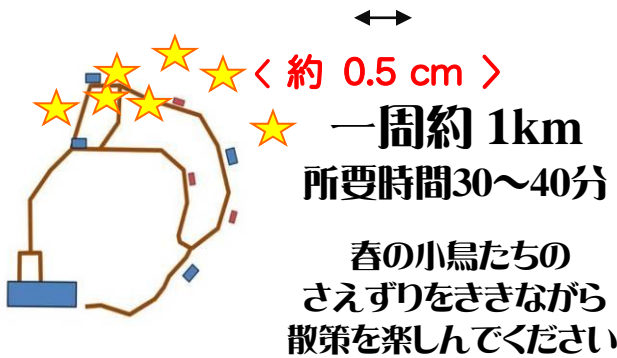


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.2

今のおすすめは ヤチツツジ です



【発見難易度】 白色の花です

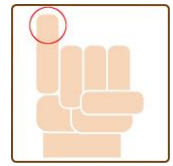
★★★★☆ ツツジ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (20~30cm程度)



小指の先くらい

【漢字：谷地躑躅】

スズランのような白くてとても小さな花が北海道の低地の「ヤチ(湿地)」に生えます。絶滅危惧種(EN)です。30cm くらいの低く細い木のため気づかないお客様も多いですが、サロベツ湿原センターでは木道わきから湿原の奥の方までたくさん見られる貴重な場所です。

ヒメイチゲ キンポウゲ科 咲いています



ヒメ(姫)の名が付くとおり、小さく可愛い花です。晴れると太陽に向かってワイと咲いているように見えます。春の風に吹かれてフラワーロックのように揺れています。

ザゼンソウ サトイモ科 咲いています



花は茶色で葉が開く前に咲き、茶色い湿原と同化しているのを見つけるとうれしくなります。苞の中は発熱現象で温度が高くなり、悪臭を放ちます。

ギョウジャニンニク(葉) ヒガンバナ科 見られます



アイヌの人たちは、強い臭気に病魔も近づけないと信じ、伝染病が流行した時には必ず戸口や窓につるしたそうです。国立公園内は植物の採取は禁止です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

E メール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.3

今のおすすめは オオバナノエンレイソウ です



【発見難易度】 白色の花です

★★★★☆☆ シュロノウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (15~30cm程度)

指の輪くらい

【漢字：大花延齡草】

気品のあるたたずまいは見る人を魅了します。北海道大学の校章のモチーフになっていたり、六花亭の紙袋に描かれていたり、道民に愛されている花です。花を咲かせるまで15年ほどかかるといわれています。

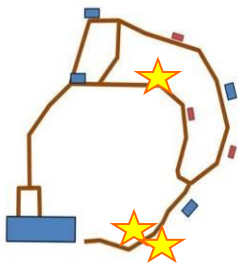


＜約 3 cm＞

一周約 1km

所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



タテヤマリンドウ リンドウ科 咲いています



晴れた日の暖かい午前中に咲くので、見られると嬉しくなります。天気が悪い日は虫が少なく花粉を守るために花を閉じるため、まったく気づかない花になります。

シショウジョウバカマ シュロノウ科



花火がパッと開いたような花は、ピンク色以外に、濃紅色なども見られます。花は地面すれすれで咲きはじめ、茎は日に日に伸びて40~50cmくらいの高さになります。

エゾカンゾウ(葉) ススキノキ科 見られます



花は例年5月末~6月初旬頃に初認され、見頃は例年6月中旬~下旬です。ここ3年はオレンジ色の絨毯が見られました。今年も遅霜の影響がないことを祈ります。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.4

今のおすすめは タテヤマリンドウ です

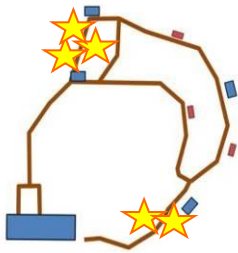


< 約 1~2 cm >

一周約 1km

所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



【発見難易度】 青色の花です

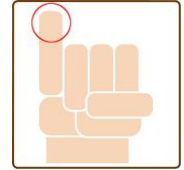
★★★★☆☆ リンドウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低 (5~10cm程度)



小指の先くらい

【漢字：立山竜胆】

秋に咲く‘リンドウ’の渋い和のイメージとは違い、春のまだ茶色い湿原に星屑が散らばっているように咲きます。陽が差した午前中に開きますが、曇天や雨天時は筆先のような白い蕾に閉じるので、気づかれない花になります。まれに白色や薄赤紫色の花もあります。

オオバタチツボスミレ スミレ科 咲いています



漢字は大葉立壺堇。湿原に生えるスミレです。名前の由来のとおり葉が大きく、高さは10~20cm程度で、スミレの割に大きい印象です。葉は丸いハート形、花は濃い紫色で目を引きます。

ミツバオウレン キンポウゲ科 咲いています



花に見える白い部分はじつはがく片で、花びらはとても小さく黄色いしやもじ形で4~5個あります。葉は名前のとおり三つ葉です。

ミツガシワ ミツガシワ科 咲いています



花の内側に白いレースのような毛がたくさんある美しい花で、氷河期からの生き残りと言われていいます。浅い水辺を好み、第1デッキ周辺と第5デッキ周辺で見られます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.5

今のおすすめは ショウジョウバカマ です



【発見難易度】薄紫色などの花です

★★★★☆☆ シュロノウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低 (5~20cm程度)



指の輪くらい

【漢字：猩猩袴】

花の色の変化が大きく、薄紫、ピンク、朱色など多彩で、白花もあります。点在して咲く様子はまるで水彩画のパレットのようです。咲きはじめは5cm程の背丈ですが、咲きながら背丈がどんどん伸び、40~50cm程まで高くなります。

マイヅルソウ クサスギカズラ科 咲いています



ハート型の葉の中心にとても小さく可愛らしい5mm程の花を十数個付けます。名前の由来は、鶴が羽を広げて舞っているようにみえる葉の形からきています。

ホロムイイチゴ バラ科 咲いています



英語名はクラウドベリーで、秋には雲(クラウド)の形の果実が赤く熟します。泥炭湿原で育つベリーです。日本では北海道の幌向地域(岩見沢市・南幌町あたり)で発見され、この名前が付けました。

ヒメシャクナゲ ツツジ科 咲いています



高さ5~10cmのとても低い木に、5mm程(BB弾くらい)の小さなピンク色の花をつけます。高層湿原を代表する花です。大湿原の中で見つけるのは難しいので、詳しいポイントはスタッフに聞いてみてください。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!

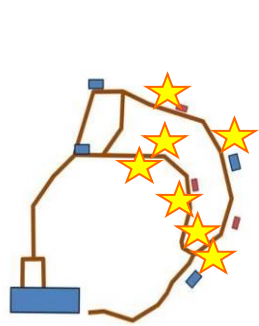


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.6

今のおすすめは ホロムイチゴ です



◀ 約 2 cm ▶

一周約 1km
所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色などの花です

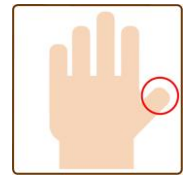
★★☆☆☆ バラ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低(10~30cm程度)



親指の先くらい

【漢字: 幌向苺】

別名「ヤチイチゴ」とも言われ、谷地(湿地の意味)に生えるイチゴです。日本では北海道の岩見沢市郊外の幌向地区で発見されたことが名前の由来です。かつては北海道の泥炭地に広く分布していたと言われています。英名はクラウドベリーで、雲(クラウド)状の果実が7月頃なります。

カラマツソウ キンポウゲ科 咲いています



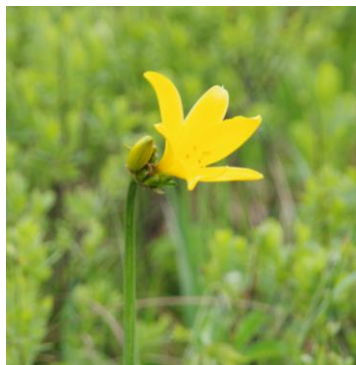
花びらが無く、たくさんの雄しべと雌しべがあり、それが唐松の葉の形に似ていることから名づけられました。まるで線香花火がチリチリと儚く燃えているようにも見えます。

ハクサンチドリ ラン科 咲いています



小さな鳥の形に似た花がたくさん密に付きます。ランの仲間、鮮やかなピンク色が目に引きまします。木道わきでは数輪ほどしか咲いていないため見つけると嬉しくなります。

エゾカンゾウ ススキノキ科 咲いています



正式な名前は「ゼンテイカ」ですが、本州では「ニコウキスゲ」としても親しまれています。朝に開花し夕方閉じる1日花ですが、続々と開花していきます。今年のピークも6月中旬~下旬になりそうです。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.7

今のおすすめは カラフトイノツツジ です



【発見難易度】 白色などの花です

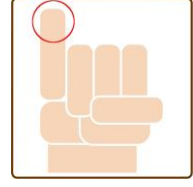
★★☆☆☆ ツツジ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低 (50cm程度)



小指の先くらい

【漢字：樺太磯躑躅】

ツツジでイメージされるよりかなり低く細い木です。白く可愛い花が球状にたくさん咲きます。「エゾ(蝦夷)」の聞き間違いから「イソ(磯)」と名付けられ、磯には生えません。枝葉を指で強めに擦ると、コーラのような匂いがします。



＜約 1 cm＞

一周約 1km
所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

ゴツマトリソウ サクラソウ科 咲いています



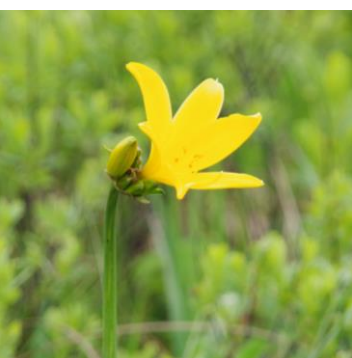
ツマトリソウの変種で湿原型です。ツマトリソウより全体的に小型で、葉の先が丸みを帯びています。広大な湿原で、まるで星々が散りばめられているかのように咲いています。

ホロムイソウ ホロムイソウ科 咲いています



とても地味ですが、高層湿原に咲くとても貴重な花です。こちらの花も北海道の幌向地区で発見されたことから名づけられました。

エゾカンゾウ ススキノキ科 咲いています



正式な名前は「ゼンテイカ」ですが、本州では「ニッコウキスゲ」としても親しまれています。朝に開花し夕方閉じる1日花ですが、続々と開花していきます。今年のピークも6月中旬～7月初旬になりそうです。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.8

今のおすすめは コバイケイソウ です

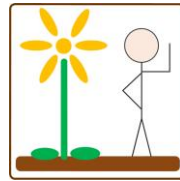


【発見難易度】 白色の花です

★★★★☆☆ シュロノウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



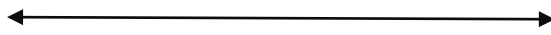
高(1~1.5m程度)



手のひらくらい

【漢字：小梅恵草】

背が 1m-1.5mと高く、トウモロコシのようなこんもりとした白い花が咲きます。大型のため、「サロベツ湿原の横綱」と言えますが、近づいてよく見るとその名の通り梅のような可憐な花をたくさん咲かせます。今年は当たり年で木道わきでたくさん見られています。



< 約 20 cm >

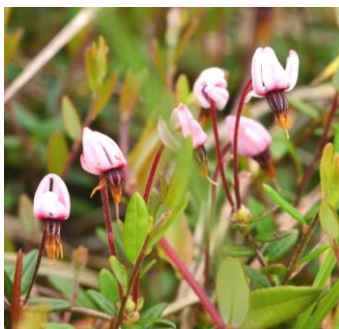
一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



ツルコケモモ ツツジ科 咲いています



ツツジ科のイメージとは程遠く、細い針金のような茎に1cm程の外側に反り返ったカタクリのような小さな花が咲きます。英名は「クランベリー」で、高層湿原に咲く貴重な花です。

カキツバタ アヤメ科 咲いています



サロベツ湿原には他に2種類のアヤメ(ノハナショウブ、ヒオウギアヤメ)が咲きますが、カキツバタは白い筋が入っているのが特徴です。

エゾカンゾウ ススキノキ科 咲いています



正式な名前は「ゼンテイカ」ですが、本州では「ニッコウキスゲ」としても親しまれています。朝に開花し夕方閉じる1日花ですが、続々と開花していきます。今年のピークは6月末頃になりそうです。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.9

今のおすすめは エゾカンゾウ です

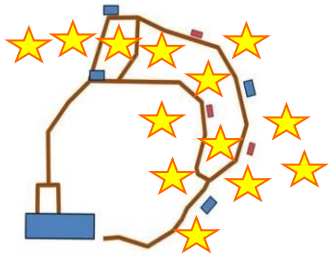


＜約 7 cm＞

一周約 1km

所要時間30～40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



【発見難易度】黄色の花です

★☆☆☆☆ ススキノキ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (70cm程度)



手のひらくらい

【漢字：蝦夷萱草】

正式な名前「ゼンテイカ」で、本州では「ニッコウキスゲ」としても親しまれています。朝に開花し夕方閉じる1日花ですが、一つの株に5輪ほど蕾が付き順番に咲くので、続々と開花していきます。エゾシカの好物で、木道わきでも食べられた跡があります。

ヤナギトラノオ サクラソウ科 咲いています



ヤナギ(柳)のような葉とトラノオ(虎の尾)に例えた花が名前の由来です。背丈が低く、ヨシなどの草の間に隠れて咲いていることが多いため、探してみてください。

アギスミレ スミレ科 咲いています



「ツボスミレ」の変種で、湿原に咲くスミレです。大湿原に1cm程の小さな花がひっそりと咲いています。葉がアゴ(顎)のように尖っていることから名付けられた説があります。

モウセンゴケ(葉) モウセンゴケ科 咲いています



食虫植物で、葉の紅色の腺毛からキラキラした朝露のような粘液を出し、小さい虫を捕らえて消化液で溶かして養分とします。花は7月に咲きます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.10

今のおすすめは ツルコケモモ です

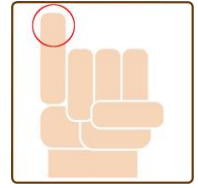


【発見難易度】ピンク色の花です

★★★★★ ツツジ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低 (5~10cm程度)

小指の先くらい

【漢字：蔓苔桃】

ツツジ科のイメージとは程遠く、茎は針金のように細く、花は小指の先ほどの小ささです。高層湿原に咲く貴重な花で、本州では山の上でしか見られませんが、通年冷涼な気候のサロベツでは平地で見られます。大湿原にひっそりと群生しています。

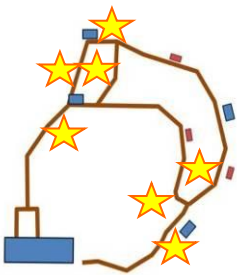


< 約 1 m >

一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



トキソウ ラン科 咲いています



人気のある貴重な野生のランです。数は少ないですが木道わきで見られます。15cm程の低さで咲いていますが、ラン科の花は小さくても色っぽいです。

ハナニガナ キク科 咲いています



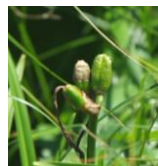
針金のような細い茎に、可愛い黄色い花が咲きます。漢字では「花苦菜」と書き、字のとおり驚くほど苦いそうです。花言葉は「明るい笑顔の下の悲しみ」です。

エゾカンゾウ(花と実) ススキノキ科 咲いています



朝に開花し夕方閉じる一日花です。今年のピークのてっぺんは過ぎ、見納め時期に入りました。早くも実も見られています。

実→



【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.11

今のおすすめは ノハナショウブ です



〈約 10 cm〉



一周約 1km
所要時間30~40分

初夏の小鳥たち
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 赤紫色の花です

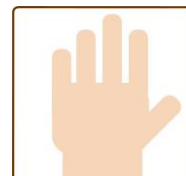
★☆☆☆☆ アヤメ科

【花の高さ】



中 (60cm程度)

【花の大きさ】



手のひらくらい

【漢字: 野花菖蒲】

カキツバタに似ていますが、赤紫色の花弁とその中央が黄色いことで見分けることができます。黄色いエゾカンゾウと入れ替わるように、サロベツ湿原を華やかにしてくれる夏の紫色の花の一つです。

サワラン ラン科 咲いています



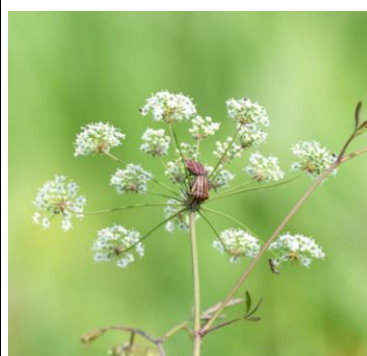
高層湿原に咲く貴重な野生ランで、派手な色ですが、下向きに控えめに開花していて、見つけることの難しい花です。ぜひ探してみてください。

キツリフネ ツリフネソウ科 咲いています



小暗い林になっている場所の足元に見られます。本当に船が吊り下げられているようななんとも不思議な形の花です。

ドクゼリ セリ科 咲いています



ドクゼリ(毒芹)の名の通り、毒性のある植物ですが、セリ科らしい小さい白い花の集まりには「可憐な恋」や「繊細」というかわいらしい花言葉がよく似合います。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.12

今のおすすめは モウセンゴケ です



【発見難易度】 白色の花です

★★★★★モウセンゴケ科

【花の高さ】



低 (5~10cm程度)

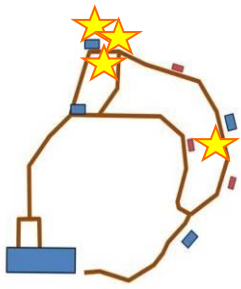
【花の大きさ】



小指の先より小さいくらい

【漢字: 毛氈苔】

虫を捕まえて自分の栄養とする「食虫植物」で、まつ毛のような先には水滴のように粘液がついていて、そこに引っ付いた虫を消化・吸収して栄養とします (左写真赤丸内)。花は小さくて可愛らしく、一つずつ順番に咲かせます。



一周約 1km
所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

ヤナギラン アカバナ科 咲いています



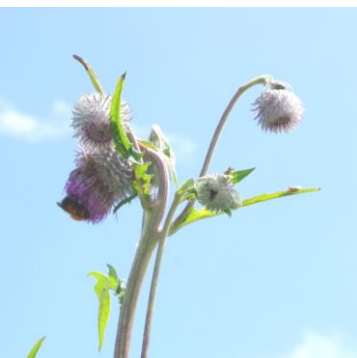
ランと名前がついていますが、ラン科ではなくアカバナ科です。木道の第1デッキより湿原センター寄りの1か所でのみ見られますのでぜひ見つけてください。

ハナニガナ キク科 咲いています



花はタンポポに似ていますが、タンポポより小ぶりで隙間の多い花が特徴です。花苦菜の名前のおり驚くほど苦いのだとか…。

エゾノサワアザミ キク科 咲いています



スラリとした茎の先にUFOのような花が下向きになって咲いています。トゲトゲした見た目ですが、様々な昆虫が訪れ、いつも賑わっています。下から覗いてみてください。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.13

今のおすすめは カキラン です



【発見難易度】黄色の花です

★★★★☆ラン科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (30~40cm程度)

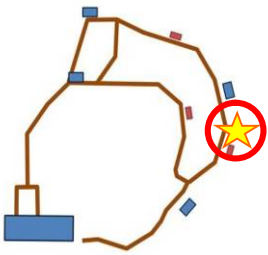


指の輪くらい

【漢字：柿蘭】

花が柿色(黄色)であることからこの名前が付けました。天気の良い日に緑の湿原に渋い黄色が映えます。花の中央(唇弁)には淡い紫色の斑点が入りとてもきれいです。木道わきでは第5デッキの角でしか見ることのできない花です。

← 約 2cm →



一周約 1km
所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

コバトンボソウ ラン科 咲いています



緑色の湿原と同系色で見つけにくいですが、名前とおトンボがたくさん止まっているように見える面白い花です。水気の多い開けた場所に咲いています。

クサレダマ サクラソウ科 咲いています



“くされ”とありますが、腐れではありません。マメ科の木であるレダマ(連玉)の花に似ていて草本であることから「草連玉」という名前です。

ミカツキグサ カヤツリグサ科 咲いています



細い茎の先に白い花が房状につき、その白い部分が三日月にたとえられ名付けられました。遠くから見ると草の先が白く光っているように見え、一見地味ですが可憐な印象です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.14

今のおすすめは タチギボウシ です



【発見難易度】 紫色の花です

★☆☆☆☆ クサスギカズラ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (50~100cm程度)

手のひらくらい

【漢字：立擬宝珠】

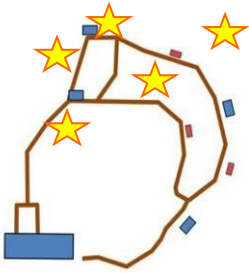
花はラッパ状でうつむきがちに咲き、よく見ると紫色の縞模様が陽射しに透けて美しい花です。緑色の湿原で風に揺れる姿は清涼感があり、短いサロベツの夏を彩ります。エゾシカが花を好んで食べる食害の影響があります。

◀ 約 5 cm ▶

一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散歩を楽しんでください



ハルウツギ アジサイ科 咲いています



白い花びらに見えるのは飾り花で、本当の花は蝶々がとまっているたくさんの小さな花です。北海道では「サビタ」という名前の方で知られています。

ドクゼリ セリ科 咲いています



トリカブト、ドクウツギと並ぶ日本三大毒草の一つです。小さな可愛いお花がたくさん集まって咲き、虫さん達に大人気で花の周りも賑わっています。

オトギリソウ オトギリソウ科 咲いています



「弟切草」という物騒な名前は、この植物が傷口に効くという秘密を弟が他人に話してしまい、怒った兄が弟を切り殺してしまったという話に由来しています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

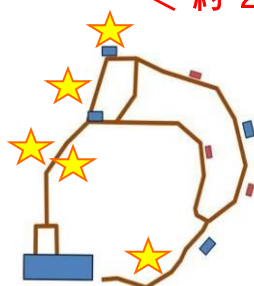
サロベツ花だより

No.15

今のおすすめは **リウツギ** です



← 約 20 cm →



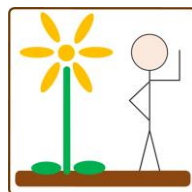
一周約 **1km**
所要時間**30~40分**

夏の虫たちが
奏でる歌をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

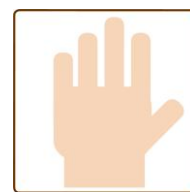
★☆☆☆☆ アジサイ科

【花の高さ】



高 (50~200cm程度)

【花の大きさ】

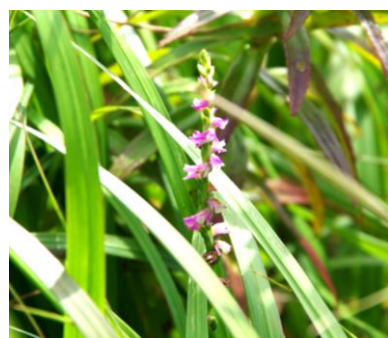


手のひらくらい

【漢字: 糊空木】

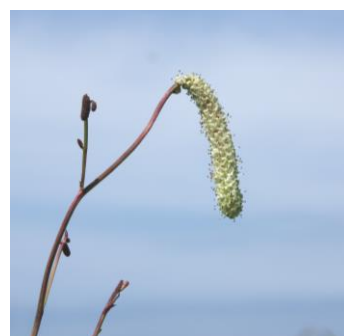
中心のふわふわして見える小さな花の集まりが本体で、外側の大きな飾り花に釣られてたくさんの昆虫がやってきます。気温が高く風の弱い日には、ハチの仲間をはじめ、カミキリムシ、チョウなどの様々な昆虫が訪れます。

ネジバナ ラン科 咲いています



ビビットピンクの小さな花が螺旋状に連なる、とても独特で魅力的な花です。草丈の低い植物でありながら、草むらの中で存在感を放っています。

ナガボノシロワレモコウ バラ科 咲いています



長い花穂の白いワレモコウ。見たままの特徴を凝縮したような名前が面白い花です。垂れ下がった花が穏やかな風に揺られている姿には趣があります。

エゾナミキソウ シソ科 咲いています



花の形を波が押し寄せ様子に見立てたことが名前の由来といわれています。淡い青紫色の花にはよく見ると薄く毛が生えていて、とても可愛らしいです。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.16

今のおすすめは サワギキョウ です



← 約 10 cm →



一周約 1km
所要時間3

夏の虫たちが
奏でる歌をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 紫色の花です



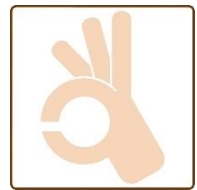
キキョウ科

【花の高さ】



中 (50~100cm程度)

【花の大きさ】



指の輪くらい

【漢字：沢桔梗】

濃い紫色の花が木道で際立っています。綺麗な花が魅力的ですが毒があり、昔は麻酔として使われていました。下から上へ順番に花が咲いていき、咲き終わった花はすぐに実になるので、上部が開花する頃には下部に実がついているのが見られます。

ホソバアカバナ アカバナ科 咲いています



小さい薄ピンク色の花がひっそりと咲いています。木道のデッキ4周辺～展望デッキのあたりを注意しながら歩くと見つけられるので、ぜひ探してみてください。

ミミコウモリ キク科 咲いています



葉の形がコウモリのように見えるため、名付けられました。花は開花が分かりづらいですが、先端が少し開いた状態で開花です。

キツリフネ ツリフネソウ科 咲いています



林内の木道を歩くと鮮やかな黄色が目に入る花です。実を指でつまむと弾けるので子供たちが沢山触っていきませんが、「私に触らないで」という花言葉がついています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
<http://www.sarobetsu.or.jp/>
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.17

今のおすすめは ナガボノシロワレモコウ です



〈花穂の長さ 約 10 cm〉



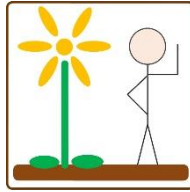
一周約 1km
所要時間30~40分

秋の虫たちが
奏でる歌をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

★☆☆☆☆ バラ科

【花の高さ】



高 (80~170cm程度)

【花の大きさ】



人差し指くらい

【漢字:長穂白吾亦香】

「ナガボ(長穂)」の名前のおり、5~10cm程の長い花穂がぶらりと垂れて咲きます。背丈はスラリと高く、風に揺れている風景はサロベツ湿原の夏~秋のはじまりにかけての風物詩です。花に付いている黒い点は雄しべです。

ハンゴンソウ キク科 咲いています



「反魂草」という名前は、深く切れ込む葉の形が手招きする人の手の形に見えることから「死者の魂を呼び戻す」という意味で名付けられました。お盆の前後に咲きます。

ウメバチソウ ニシキギ科 咲いています



とても細い茎の先に、直径 2cm 程のわりと大きめで梅に似た花が天を向いて咲きます。草陰に隠れていることもあるので、探してみてください。

ミゾソバ タデ科 咲いています



白とほんのりピンク色の小さな花が足元で可憐に咲いています。葉の形が牛の顔に似ていることから、別名「ウシヒタイ」と言います。内周で見られます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
<http://www.sarobetsu.or.jp/>
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

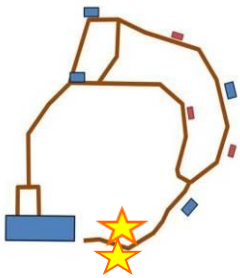
No.18

今のおすすめは キツリフネ です



◀約 3 cm▶

一周約 1km
所要時間30~40分



秋の虫たちが
奏でる歌をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】黄色の花です

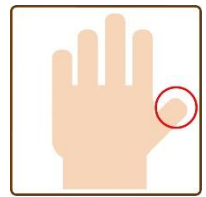
★☆☆☆☆ ツリフネソウ科

【花の高さ】



中(約 70cm)

【花の大きさ】



親指の先くらい

【漢字：黄鈞舟】

うす暗く湿った場所を好む一年草で、鮮やかな黄色の大きな花弁がパッと目に留まります。花の後ろに伸びている「距(きょ)」という部分は、バランスを保つためだけにある器官で、何とも不思議な形をしています。

ヤマハハコ キク科 咲いています



学名が「真珠」を意味するギリシャ語が元になっていると言われ、白くてふわふわな花が密に咲きます。漢字では「山母子」と書き、夏の終わりから秋にかけて咲きます。

ヒメシロネ シソ科 咲いています



葉の付け根に小さくて可憐な花をたくさんつけます。花言葉は、そんな可愛い姿とはギャップがあり「逆風を耐え忍ぶ」という花言葉がついています。

ウシハコベ ナデシコ科 咲いています



とても小さい花で煌めく星のように咲いています。2つに割れた花びらが5枚あるのが特徴です。ハコベの種類の中でも葉が大きいので、その様子をウシに例えたことが名前の由来と言われています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

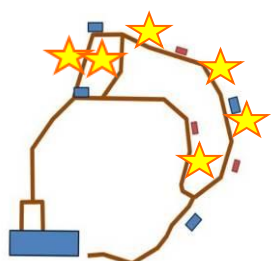
サロベツ花だより

No.19

今のおすすめは ミヤマアキノキリンソウ です



◀約 5 cm ▶



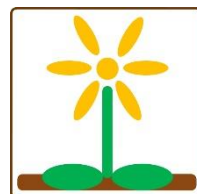
一周約 1km
所要時間30~40分

秋の虫たちが
奏でる歌をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】黄色の花です

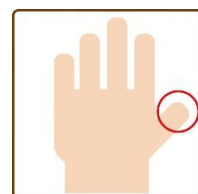
★☆☆☆☆ キク科

【花の高さ】



中(約 20~70cm)

【花の大きさ】



親指の先くらい

【漢字:深山秋麒麟草】

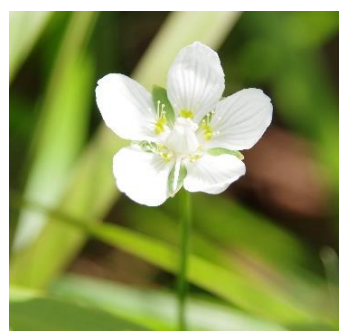
サロベツ湿原の秋に咲くお花の代表格の一つで、鮮やかな黄色い花が秋の湿原でよく目立ちます。黄色い菊の小さく可愛らしい花が縦に並んで密集して咲きます。伝説上の生物の麒麟が名前の由来との説があります。

エゾリンドウ リンドウ科 咲いています



いつまでも蕾と
思っている方も
いるようですが、
花びらは大きくは
開かず、天気の良い
時にわずかに開き
ます。園芸種のリ
ンドウの元になっ
ています。

ウメバチソウ ニシキギ科 咲いています



名前のおり梅の花
に似た白く美しい
花を咲かせます。
開花後雄しべを一
日に1本ずつ立て
るため、開花から
の日数を知ること
ができます。

秋色に染まる湿原 特等席に座ってのんびりと



【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.20

今のおすすめは エゾリンドウ です



←約 6 cm→



一周約 1km
所要時間30~40分

秋の虫たちが
奏でる歌をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 紫色の花です

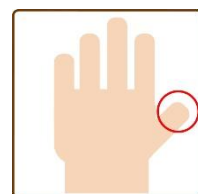
★☆☆☆☆ リンドウ科

【花の高さ】



中 (約 30~40cm)

【花の大きさ】



親指の先くらい

【漢字: 蝦夷竜胆】

サロベツ湿原の秋のお花の主演エゾリンドウ。気品があり凛としていて一株でも見応えのある花です。花は大きく開かないためいつまでも蕾と見えますが、花の先が少し開くと開花となります。園芸種のリンドウの原種です。

ミヤマアキノキリンソウ キク科 咲いています



キク科の黄色い小さなお花が縦にぎっしり並んで咲き、湿原の中でよく目立ちます。伝説上の生物麒麟が名前の由来です。別名はコガネギク(黄金菊)です。

シロネ シソ科 咲いています



シソ科のため茎の断面が四角く、指でつまむと角を感じます。葉も花もミントに似ていて、葉を指で強くこするとミントの香りがします。

色づく実とミズゴケの森



今年当たり年だったツルコケモモは沢山実となり、真っ赤に熟しました。紅葉してきたミズゴケと青々としたマンネンズギを見ていると、まるで巨人になって上から小さな森を眺めているかのようです。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 10月号

今のおすすめは タンチョウ です



今年サロベツではタンチョウの生息は 14 羽確認されました。近年、道北での営巣数はサロベツ湿原が最大となっています。繁殖期に当たる 5～8 月は湿原の奥で子育てをする為あまり姿を現しませんが、9～11 月は主に牧草地にいるところや、大空を羽ばたく姿を目にすることができます。冬になり道東へと旅立つまでの短い期間、サロベツの優雅な隣人を見かけたらラッキーです。観察にあたっては、タンチョウを驚かせない、農地に入らないということをご注意ください。

【秋の渡り鳥たち】ラムサール条約湿地であるサロベツは、渡り鳥の重要な中継地にもなっています。



オオヒシクイ



マガンと幼鳥

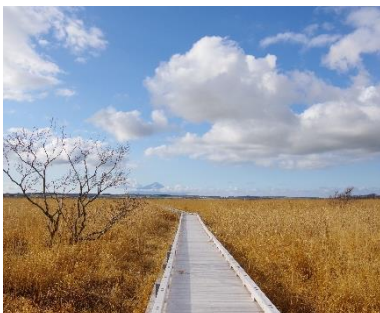


ハクガン



コハクチョウ

「草紅葉(くさもみじ)」の季節です



湿原の植物が紅葉し黄色になる草紅葉は強い魅力があり、夕日に照らされるとさらに色濃く染め上がって映画「風の谷のナウシカ」のラストシーンのような素晴らしい光景です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

<http://sarobetsu.or.jp/>

Facebook も見てね！



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 12月号

雪化粧し、着々と冬支度を整えるサロベツ湿原です。



時折吹雪が吹くようになり、冬の厳しさを垣間見る季節となりました。木道には雪が積もり、生える木々にも白いモコモコとした可愛い雪の固まりが付いています。木道の散策には長靴やスノーブーツがおすすめです。

【動物の痕跡】 積もった雪の上には、動物達の生活の跡が残っています



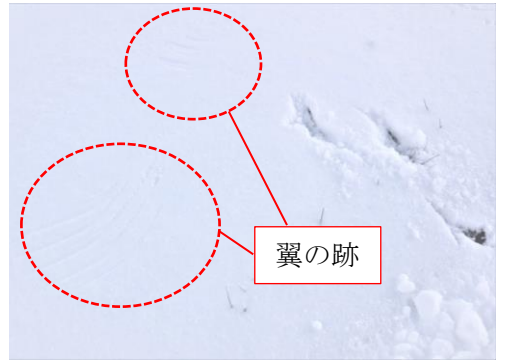
アカネズミの足跡

・2.5cm 程の可愛い足跡です



キタキツネの足跡

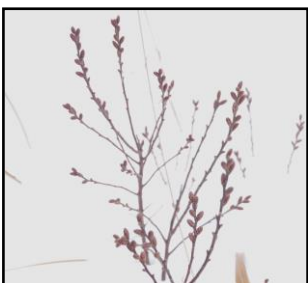
・足跡が目立たない、ハンター歩き



カラス類の足跡、翼の跡

・よく見ると、右側に風切羽の跡が

冬本番に向けて備えましょう! 【ヤチヤナギ】



ヤチヤナギを含む多くの落葉樹は冬の間「冬芽」を作り、寒さや乾燥に耐えています。我々人間も暖かい服装で冬を乗り切り、木々の芽吹きと共に来年の春を迎えましょう。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

<http://sarobetsu.or.jp/>

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 1月号

サロベツ湿原は雪が積もって「サロベツ雪原」になりました。



時たま大雪が降るようになり、遂には木道が雪で埋まって、一面平らな雪原が出来上がっていました。こんな時は木道を外れて歩いてみるのも良いですね。湿原の散策にはスノーシューが便利です。

【 樹木と共に 】 樹皮の上には様々な生き物たちが暮らしています。



地衣類

藻類と菌類が共生している



コケ類

葉を閉じて休眠している



菌類(キノコ類)

木にくっついて、そのまま腐らせる

雪原に埋まる 【カキツバタ】



雪原になったサロベツ原野は、降り積もった雪の下にたくさんの植物や種が埋まっています。今年は何のような姿を見せてくれるのか。今から楽しみます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

<http://sarobetsu.or.jp/>

Facebook も見てね！



サロベツ湿原センター発“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 1月号

サロベツ湿原は雪が積もって「サロベツ雪原」になりました。



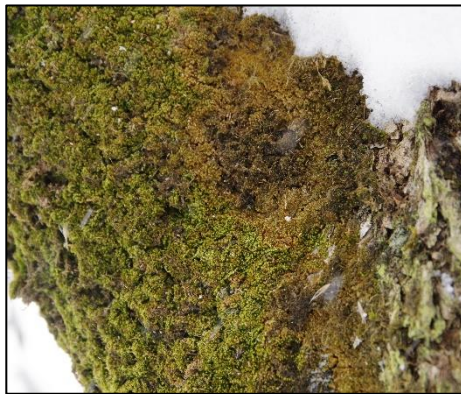
遂に木道が雪で埋まり、一面平らな雪原が出来上がっていました。風も弱く天候に恵まれた場合は木道を外れて歩いてみるのも面白いかもしれません。湿原の散策にはスノーシューが便利です。

【 樹木と共に 】 樹皮の上には様々な生き物たちが暮らしています。



地衣類

藻類と菌類が共生している生物



コケ類

葉を閉じて、休眠している



菌類(キノコ類)

木を腐らせながら成長する

雪原に埋まる 【カキツバタ】



雪原になったサロベツ原野は、降り積もった雪の下にたくさんの植物や種が埋まっています。今年は何のような姿を見せてくれるのか。今から楽しみです。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

<http://sarobetsu.or.jp/>

Facebook も見てね！



サロベツ湿原センター発“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 2月号

極寒のサロベツでは空気も水も、樹木も凍ってしまいます。



樹木が凍り付く。この現象は「樹霜(じゅそう)」といい、正確には樹木が凍るというよりは空気中の水蒸気が枝に付着し、凍り付いて結晶化することを差します。木の中の水分が凍ってしまっているわけではないのです。

【スノーシューガイド】 サロベツ・エコ・ネットワークでは、湿原センター周辺でのガイドを例年行っていますが、今年から豊富温泉周辺でのガイドを始めました。是非ご参加ください。

豊富温泉でのスノーシューガイドの様子



生物を観察する様子

こんなに寒くても生物は生きています



開けた場所を進む

自分たちの足跡が真っ白キャンバスに



雪へダイブ！！

楽しそうですね

某蜘蛛男…？ 【エゾリス】



ある日蜘蛛に噛まれて、蜘蛛男になったヒーローを彷彿とさせるポーズを披露するエゾリス。

普段から樹上生活をする彼にとって、このぐらいなんてことないようですね。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね！

